

1/25 (2017)

今秋開催へ実行委発足

イベントごとと6部会設置

茅野市「八ヶ岳 JOMON ライフフェス」

今秋に茅野市で初めて開かれる縄文総合芸術祭「八ヶ岳JOMONライフフェスティバル」の実行委員会（委員長・柳平千代一茅野市長）が23日夜、発足した。会期は9月9日～10月22日。3年に1度の「トリエンナーレ」として、これまでの縄文イベントを凝縮し、新たな企画も加える。縄文を通してくらしの原点を見つめ直してもらい、ライフスタイルの提案も目指す考えだ。

（樋口美世子）



縄文総合芸術祭「八ヶ岳」JOMONライフフェスティバル」に向けて発足した実行委員会

「回」とし、東京オリンピックが開かれる2020年を第1回と位置づける。今回はプロローグとし、世界に向けて縄文をどのように発信していくかを視野に取り組む。

実行委はイベントごとに、「縄文まつり」「夜の火祭り」「ものづくり・商品メッセ」「学習・識る」「アート・パフォーミング」「まちなか賑わい」の計6部会を設置。部会のリーダーには、市が市民とともに進める「縄文プロジェクト」実行市民会議の部長などを選出した。

市役所で開いた会合には各関係機関や市などから約60人が参加した。意見交換では「小学校の縄文科と結び付け（小学生も）一緒に企画していけたら素晴らしい」「イベントが終わってからも販売できるような永続的な商品を開発したい」などの声が上がった。

期間中、9月9日には茅野市民館で作家の原田マハさんの講演会、10月15日には縄文かるた大会（場所は未定）、10月7日には尖石遺跡で目玉の

「夜の火祭り」を開催予定。また、市民館が中心となり縄文の視点で街中をアートで飾る。10月22日午後5時30分からは歌手の平原綾香さんを招き、2014年に市民公募により作成された「縄文のうた」を市民とともに歌うコンサート（有料）を開く。今秋の同フェスは「第0

き、2014年に市民公募により作成された「縄文のうた」を市民とともに歌うコンサート（有料）を開く。今秋の同フェスは「第0